

## コロナ禍における米価下落対策を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大による需要の大幅な減少により、令和2年産米において過大な在庫が生まれました。令和3年産主食用米の作付は、全国で飼料用米や加工用米への転換による減反を進め、36万トンの主食用米の減産を行いました。それでもなお、令和3年産の米価格は大暴落が続いています。

北海道米の主力である、ななつぼしの令和3年産概算金は1万1,000円と、昨年より2,200円も下落し、令和2年産北海道米の在庫は5万トン以上で、全道共計では、ななつぼしの精算は赤字が見込まれています。現状、来年産米の下落も避けられないと予想されることから、生産者に不安が広がっております。

国は、米穀周年供給・需要拡大支援事業における令和2年産米37万トンのうち、15万トンを特別枠とする米価下落対策をしていますが、さらに来年の生産に影響が及ぶことが懸念されています。

よって、国におかれましては、コロナ禍で危惧される米価下落に歯止めをかけ、需給環境を改善するための手段を講じられるよう強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和3年12月9日

北海道江別市議会

提出先  
内閣総理大臣  
財務大臣  
農林水産大臣